



おとせの記





















此の書物は其錫蓋の縁に切取はるゝこの  
先生に之の御託に於ては持てたるもの  
おのれを以てしてはたすべしといふ  
道に於ては其の御託に於てはたすべし  
此の書物は其錫蓋の縁に切取はるゝこの  
先生に之の御託に於ては持てたるもの  
おのれを以てしてはたすべしといふ  
道に於ては其の御託に於てはたすべし  
此の書物は其錫蓋の縁に切取はるゝこの  
先生に之の御託に於ては持てたるもの  
おのれを以てしてはたすべしといふ  
道に於ては其の御託に於てはたすべし











はあしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ

たかたのむしんかきんぬのむしんかきんぬ



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written vertically on the left page of the open book. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a small symbol that looks like a cross or a similar character. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written vertically on the right page of the open book. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a small symbol that looks like a cross or a similar character. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.



海のくは斗

いふはいはいはにほはれはきり  
せし 蝶 夏

おもしろいれいれい乃 窓 兼 戸

首より駒の力も衣もきて其ふ

まへ横一りのあつとせうこそり 夏

川 向い 放 下 の 太 敷 う ち 出 戸

むらむらむら きのう 蔭 う ち 出 戸 白

いふはいはいはにほはれはきり  
せし 嵐 子 夏

通うはいはいはにほはれはきり  
せし 九 戸

いふはいはいはにほはれはきり  
せし 八 戸

つけの小根の髪もいふはいはいはにほはれはきり  
せし 夏 戸

板の足が蟻より端のふあつとせし  
白 戸

み—れあつとせし 夏 乃 白 戸

いろやうは帯きりて 夏 戸

さうしものきりて 夏 戸







赤坂のふりてきりよ漏の記  
十代つゝくろ名山伏  
寺のいふやをーま茶施を  
めな牛あゝ毎町乃入口  
ねろふ中へくたれはほそ  
うらまふー ちあまきゆ九 戸 白 着

赤坂のふりてきりよ漏の記  
十代つゝくろ名山伏  
寺のいふやをーま茶施を  
めな牛あゝ毎町乃入口  
ねろふ中へくたれはほそ  
うらまふー ちあまきゆ九 戸 白 着

赤坂のふりてきりよ漏の記

赤坂のふりてきりよ漏の記







